

# 平成 29 年度 関水コン技術講座 実施報告書

## 「下水道管路施設の管理業務について」

～管路施設におけるストックマネジメント並びに維持管理の取り組み事例について～

### 1. 関水コン技術講座の概要

膨大なストックを抱える下水道事業において、今後加速する老朽化や人口減少による使用料収入の減少など事業体の財政状況の逼迫が予想される中、良質な下水道サービスを持続的に提供することが求められている。

下水道事業における維持管理および改築更新を進めて行く中、執行体制や財政面での制約の下で施設を計画的かつ効率的に管理し、機能を維持していく役割が重要視されることになる。

特に管路施設においては、平成 27 年度末で整備延長が約 47 万 km となっており、事業運営に与える影響も大きいものとする。

このような背景から、関水コン技術講座では、講演 1 として、国土技術政策総合研究所 下水道研究部下水道研究室 主任研究官 深谷 渉 氏により、下水道管路施設管理の現状と将来像や管理のポイントについて解説頂いた。講演 2 では、河内長野市 上下水道部 経営総務課 主幹兼企画係長 奥野 聡文 氏により、包括的民間委託を導入した下水道管路施設の維持管理の具体的な取り組みや効果・課題などについて解説頂いた。

#### ■ 関水コン技術講座のプログラム

I. 日 時 平成 29 年 9 月 27 日 (火) 13:30～16:25

II. 講演会 講演 1 : 「下水道管路施設におけるストックマネジメントについて」

講 師 : 国土技術政策総合研究所 下水道研究部下水道研究室 主任研究官 深谷 渉 氏

講演 2 : 「下水道管路施設における維持管理の取り組み事例について」

講 師 : 河内長野市 上下水道部 経営総務課 主幹兼企画係長 奥野 聡文 氏

会 場 : 昭和設計大阪ビル 2 階 会議室

### 2. 出席者の状況とアンケート調査結果

出席者は、95 名の申し込みに対し、当日、協会員 50 名、地方公共団体 35 名、他コンサル 1 名の計 86 名に加え、主催者・講師 10 名、報道関係 2 名、計 98 名の参加となった。

アンケート調査では、81 名の方から回答を頂いた。この内訳は、関水コン講習会への初参加の方が 49% を占め、また、演題に対する評価は、“参考になった”、“少し参考になった” が 2 題平均で 96% に達している。このことから、改めて本テーマの適時性と PR 効果を確認した。

### 3. 最後に

上下水道は、国民の生活改善、環境保全、防災対応などを担う重要なインフラとしての役割があり、今回のテーマである「下水道管路施設の管理業務について」を考えることは、水コン協会員および上下水道事業関係者に、今後の計画的かつ効率的な施設管理についての認識を深めて頂くためにも大変有意義であった。水コン協としては、本テーマやこれに関連する事項に係る技術提供、情報共有など、講習会等を通して継続的に貢献することを求められていると考える。

